

ダム決壊に医師派遣

AMDA、インドネシア人ら

インドネシアのジャカルタ南方で土で造られたダムが3月27日に決壊し、多数の死者が出ていることを受け、岡山市の国際医療NGO「AMDA(アムダ)」は6日、インドネシア人医師ら3人で編成した医療チームを派遣し、被災地で医療活動を始めたと発表した。

医療チームは、3月30日に現地入りし、翌日から被災地の避難所にある中央医療キャンプで診療を開始した。4月2日には避難所に医薬品を寄贈。子どもたちには、本や筆記用具50セットを配ったほか、キャンプ内で心の傷を癒やすビデオ上映をしている。

アムダは、医薬品の購入や診療などの医療活動費をまかなう募金を呼びかけている。問い合わせはアムダ本部(086・284・730)。